

対応状況報告書

大 学 名： 山形大学

評価実施年度： 令和元年度

報 告 年 度： 令和4年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○ 有機材料システム研究科（修士課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。
対応状況	・有機材料システム研究科（修士課程）：1.25 倍（2017～2021 年度）と改善されている。 上記の改善を要する点の指摘に対して、有機材料システム研究科の入学定員の見直しを行い、令和元年度までの 65 名から、令和 2 年度は 85 名、令和 3 年度は 98 名へと増員した。 【根拠資料・データ】 5-3-1-06_認証評価共通基礎データ（有機材料システム研究科（修士課程）

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○ 医学系研究科（修士課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	・医学系研究科（修士課程）：0.7 倍（2017～2021 年度）と改善されている。 上記の改善を要する点の指摘に対して、医学系研究科においては、令和 2 年 10 月入学者から、山形大学医学部附属病院に雇用されている看護師、臨床検査技師等の医療職員を対象としたスキルアップ研修制度を設けた。本制度は、本学大学院医学系研究科に進学した場合、就労及び就労支援としての進学支援金（納付した入学料及び授業料の 1/2）を給付するものであり、令和 2 年度 5 名、令和 3 年度は 6 名が本制度を利用した。 また、令和 2 年 2 月及び 12 月に、本学学生・大学院生を対象として「山形大学医学部東日本重粒子センター学生見学会」を実施し、

	重粒子治療装置（山形モデル）が理工系技術の結集であることの説明を行い、学際的な学生募集を行った。 さらに、令和３年４月に「看護学専攻説明会」をするとともに、令和３年６月には新たに「先進的医科学専攻説明会」を開催し、各専攻の特色及び入試制度等の説明を行った。 【根拠資料・データ】 5-3-1-07_認証評価共通基礎データ（医学系研究科（修士課程） 5-3-1-08_スキルアップ研修制度要項 5-3-1-09_山形大学医学部東日本重粒子センター学生見学会チラシ 5-3-1-10_山形大学大学院医学系研究科看護学専攻説明会チラシ 5-3-1-11_山形大学大学院医学系研究科先進的医科学専攻チラシ
--	---

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の６月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。